

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	C言語基礎	
科目基礎情報							
科目番号		0083		科目区分	専門 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		機械工学科		対象学年	2		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		プログラミング言語C, 石田晴久 (訳), 共立出版					
担当教員		亀山 建太郎					
到達目標							
(1) プログラムを実行するための手順を理解できる (2) 定数と変数を説明できる。整数・実数・文字型などのデータ型を説明できる (3) 演算子の種類と優先順位が分かり、算術演算子と比較演算子を利用したプログラムを作成できる (4) データを入力し、結果を出力するプログラムを作成できる (5) 条件判断、繰り返し等の制御文を使ったプログラムを作成できる (6) 一次元・二次元配列を使ったプログラムを作成できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		プログラムを実行するための手順を理解でき、字下げ／コメント等を用いた読みやすいプログラムを作成できる。		プログラムを実行するための手順を理解できる		プログラムを実行するための手順を理解できない	
評価項目2		データを入力し、結果を出力するプログラムを作成でき、字下げ／コメント等を用いた読みやすいプログラムを作成できる。		データを入力し、結果を出力するプログラムを作成できる		データを入力し、結果を出力するプログラムを作成できない	
評価項目3		定数・変数・整数・実数・文字型などのデータ型を説明でき、字下げ／コメント等を用いた読みやすいプログラムを作成できる。		定数・変数・整数・実数・文字型などのデータ型を説明できる		定数・変数・整数・実数・文字型などのデータ型を説明できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		プログラミングの基礎として、高速で移植性に富むC言語の基本的知識の習得を目標とする。					
授業の進め方・方法		基本的なプログラム例を示しながらC言語を解説し、簡単な工学的、数学的問題に対して学生自らがプログラムを作成することにより理解を深める。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス (シラバスの説明, C言語の概要と特徴)		本授業の概要と目的が理解できる		
		2週	開発環境の使い方／入出力の基本		準備されたプログラミング環境を使う事ができる／画面出力・キーボード入力 (scanf, printf) を利用したプログラムが作成できる		
		3週	変数の型, マクロ定義, 数値の表示形式		型の意味を理解し, int, float, #defineを用いたプログラムが作成できる／表示桁数等を考慮したプログラムが作成できる		
		4週	数学関数, 文字列処理関数の利用		ライブラリに準備された関数の機能を調べ, 利用したプログラムが作成できる		
		5週	分岐処理		if文を利用したプログラムが作成できる／フローチャートを描くことができる		
		6週			switch文を利用したプログラムが作成できる／フローチャートを描くことができる		
		7週	中間試験				
		8週	繰返し処理		for文を利用したプログラムが作成できる／フローチャートを描くことができる		
	4thQ	9週			while文を利用したプログラムが作成できる／フローチャートを描くことができる		
		10週	配列		1次元, 2次元配列を利用したプログラムが作成できる		
		11週			配列と制御構造を組み合わせたプログラムが作成できる		
		12週	関数		自作の関数を利用したプログラムが作成できる		
		13週			自作の関数を利用した複雑なプログラムが作成できる		
		14週	構造体		構造体を利用したプログラムが作成できる		
		15週			構造体利用した複雑なプログラムが作成できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	4		
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	4		
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	4		
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	4		

				インターネットの仕組みを理解し、実践的に使用できる。	4	
				情報セキュリティの必要性、様々な脅威の実態とその対策について理解できる。	4	
				個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できる。	4	
				インターネットを用いた犯罪例などを知り、それに対する正しい対処法を実践できる。	4	
				数値計算の基礎が理解できる	4	
				コンピュータにおける初歩的な演算の仕組みを理解できる。	4	
				データの型とデータ構造が理解できる	4	
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	情報処理	プログラムを実行するための手順を理解し、操作できる。	4	
				定数と変数を説明できる。	4	
				整数型、実数型、文字型などのデータ型を説明できる。	4	
				演算子の種類と優先順位を理解し、適用できる。	4	
				算術演算および比較演算のプログラムを作成できる。	4	
				データを入力し、結果を出力するプログラムを作成できる。	4	
				条件判断プログラムを作成できる。	4	
				繰り返し処理プログラムを作成できる。	4	
				一次元配列を使ったプログラムを作成できる。	4	
				二次元配列を使ったプログラムを作成できる。	4	

評価割合

	試験	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0